

## 公益財団法人東京子ども図書館 2025年度研修生募集について

東京子ども図書館では、2002年度より研修生制度を発足させました。この制度は、将来、公共図書館や学校図書館で、子どもと本をつなぐ仕事に携わりたいと希望する若い方々に、東京子ども図書館での実習を通して、図書館の児童サービスに必要な基礎的な理念、知識、技能などを身につけていただくことを目的としています。本と子どもが好きで、長くこの分野で働きたいという意欲のある方のご応募をお待ちしています。以下の要項をよく読んで、お申込みください。

\***募集人数**：若干名

\***年齢**：原則として35歳まで。ただし、事情により、若干の幅を認めます。

\***研修期間**：2025年4月より1年間。ただし、本人が希望し、当館の事情が許せば、1年を超えない範囲で延長することもあります。

\***研修時間**：火曜日から土曜日の週5日、午前10時から午後5時まで（週35時間）を基本とし、ご希望を伺いながら調整いたします。

\***研修内容**：以下のようなことを学ぶことができます。

- (1) 当館の児童室、かつら文庫、および資料室での実習による、子どもに対する図書館サービスと、それに関連したおとなへのサービスについて
- (2) 講義、文献講読、および演習による、子どもの読書、子どもに対する図書館サービスの理念、歴史と現状、国際的活動等について
- (3) 新刊書を検討する「本の会」、基本的な本を読む会等への参加による、選書、書評・解題の書き方の基礎

※在籍期間中、当館が行うすべての講習会、講演会、その他の研修活動に参加できます。

※必要に応じて、館外の施設や機関の見学、図書館大会等の関連の学習会や講演会に参加できます。その他、当館が研修上有益と認める諸活動にも参加できます。

\***受講料**：無料

※石井桃子奨学研修助成の対象となります。必要な方には交通費助成がありますので、費用のことだけの理由で受講をためらっていらっしゃる方はご相談ください。助成を希望の場合は、必ず応募前に、担当者までお問い合わせください。

**\*応募方法：**

- ・応募用紙2点（応募用紙①は学生用と社会人用があります）
  - ・「子ども時代の読書の思い出」をテーマにした作文（A4原稿用紙、400字詰め縦書き5枚程度、自筆）
  - ・返信用封筒（定形120×235mm 住所、氏名を明記し、110円切手を貼付したもの）
- ※上記3点を当館宛にお送りください。封筒の表に「研修生希望」と朱書きのこと。

**\*申込締切：2024年12月10日（火）必着**

**\*選考と結果の通知：**応募者多数の場合は、作文、面接等により選考します。詳細については、直接応募者本人に連絡します。選考の結果は、2025年1月中旬に、本人に連絡します。

東京や近郊にお住まいの方で、まだ当館にいらしたことがない方は、応募なさる前に見学においてになることをおすすめします。足を運ぶ機会のない方は、当館の「ごあんない」やホームページ、機関誌「こどもとしょかん」等を読んで、当館の成り立ちや、活動内容をよく知ってから、応募するかどうかを決めてください。これまでの研修生の報告が、機関誌（98、101、107、110、114、122、126、130号）に掲載されていますので、参考になさってください。「ごあんない」や、機関誌「こどもとしょかん」の見本誌をご希望の方は、その旨お知らせください。

研修期間中には、ご希望に応じて時間外に講習会や講演会、学習会等に参加する機会があるほか、本を読むこと、お話をおぼえること、レポートの作成など、自分の時間を使ってしなければならないことがたくさんあります。ご自分の生活設計をよくお考えになった上で応募をご検討ください。



公益財団法人 東京子ども図書館

〒165-0023 東京都中野区江原町1-19-10

電話：03-3565-7711 ファックス：03-3565-7712

研修担当（内藤・加藤・小野寺）